

人と自然、人と人、世代と世代をつなぐ

「聞き書き甲子園」は、高校生が農山漁村に暮らす「名人」を訪ね、その知恵や技術、生きざまを「聞き書き」し、発信する活動です。

「名人」は、林業、炭焼き、木工職人、漁師など、自然と向き合い、地域の暮らし、文化、伝統を守りながら仕事を続けてきた方たち。その多くは、高校生の祖父母にあたる世代です。一方、高校生は、北海道から沖縄まで全国から参加します。高校生は一人ひとりで、各地域の「名人」を訪ね、インタビューし、その言葉を一言一句、書き起こして作品をまとめます。

「名人」の「聞き書き」を通して、高校生は「働くこと」や「生きること」を学びます。まるで本当の祖父母と孫のように「名人」との交流がつづく高校生がいます。大学生や社会人となって、農山漁村に1・Uターンし活躍する卒業生もいます。皆さまの地域でも、「名人」を推薦し、「聞き書き」する高校生を受け入れてみませんか。

「聞き書き甲子園」では、毎年、同事業にご協力いただく市町村（地域）を公募し、開催しています。

「自然と向き合う仕事の大切さ」や「地域ごとに特色ある生活文化の豊かさ」を広め、未来を担う次世代を育成するとともに、ご協力いただいた地域には、長年にわたり育まれてきた「なりわい」や「生活文化」を再認識し、地域の未来を共に考える「場」を提供できればと考えています。同事業の趣旨にご賛同いただき、皆さまのご協力を賜えますと幸いです。

聞き書き甲子園実行委員会

（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO 法人共存の森ネットワーク）



聞き書き甲子園 協力市町村（地域）

公募概要

公募対象 市町村（地域）

- 令和5年度「第22回聞き書き甲子園」において、高校生の「聞き書き」の対象となる6～8名の「名人」(*)を推薦いただくことが要件となります。

(※)「名人」は、林業、水産業、工芸など、森・川・海など地域の自然とかわる仕事に長年従事し、先人からの知恵や技、心を受け継いできた概ね60歳以上の方を想定しています。

- 市町村を窓口として「地域団体」(*)が実質的な主体として申請することや、複数の市町村が連名で申請することもできます。

(※)ここでいう地域団体とは、地域自治組織や市民活動団体、事業協同組合等をさします。

- 選定された「名人」には、令和5年8月下旬以降に、高校生の「聞き書き」取材にご協力いただきます。「聞き書き」する高校生の旅費等は、主催者（聞き書き甲子園実行委員会）が負担します。

公募期間 令和4年5月10日（火）～9月2日（金）17時必着

公募要領

「協力市町村（地域）公募要領」に定める申請書（様式1）及び申請地域概要説明書（様式2）を聞き書き甲子園事務局宛に郵送又はメールに添付し提出してください。詳しくは下記URLより公募要領をご確認ください。

聞き書き甲子園 <https://www.kikigaki.net/>

選定結果 令和4年10月末までに文書により通知します。

名人の推薦

選定された市町村（地域）には、令和5年1月末までに「名人」を推薦いただきます。
※上記サイトに「名人推薦要領」を掲載しています。
あわせてご確認ください。

応募先・お問い合わせ

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26-301
NPO 法人共存の森ネットワーク内
聞き書き甲子園実行委員会事務局
TEL：03-6432-6580 FAX：03-6432-6590
E-mail：contact@kikigaki.net

今しか聞けない話がある。



働くこと、生きること、地域への想い

第22回 聞き書き甲子園

協力市町村（地域）公募のご案内

【主催】聞き書き甲子園実行委員会（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO 法人共存の森ネットワーク）【募金・企業寄付】株式会社ファミリーマート【協賛・協力】一般財団法人環境文化創造研究所、公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、株式会社長塚電話工業所、株式会社トンボ、京王電鉄株式会社、株式会社ティムコ、公益財団法人SOMPO環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、一般社団法人全国過疎地域連盟、NPO 法人「日本で最も美しい村」連合

あなたも、コンビニに、

ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

